

北東北および岩手県における若手医師確保 の 現状と対策

岩手医科大学 学長
小笠原邦昭

- **北東北における地域枠の配置の現状と対策**
- **岩手医科大における恒久定員内への地域枠に準じた枠の設置の取り組み**
- **岩手医科大における地域枠以外の医学生に対する地域定着に向けた取り組み**

- ・ **北東北における地域枠の配置の現状と対策**
- ・ 岩手医科大における恒久定員内への地域枠に準じた枠の設置の取り組み
- ・ 岩手医科大における地域枠以外の医学生に対する地域定着に向けた取り組み

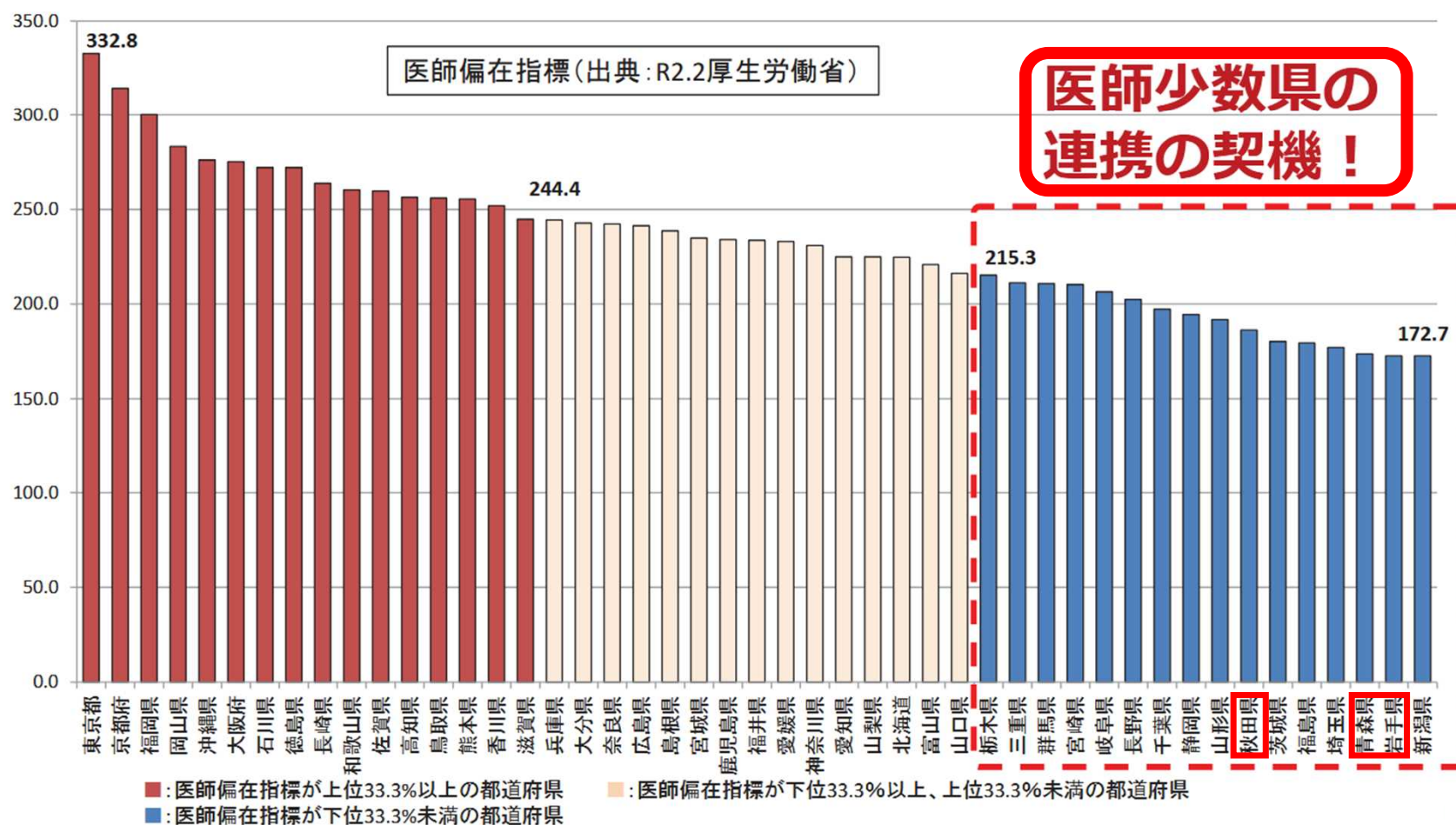
現在の北東北



「地域医療を担う医師の確保を目指す知事の会」の設立

厚生労働省の公表した**医師偏在指標**において、**医師の地域偏在が改めて明らかに**

※ 医師偏在指標は、地域の医師数だけでなく、地域の医療ニーズ、人口動態等を踏まえて算定



現在の北東北



廃藩置県は、藩制度が無視されて、県境が明治政府によって決められた
→文化はいまだに藩制度のまま

江戸時代の北東北

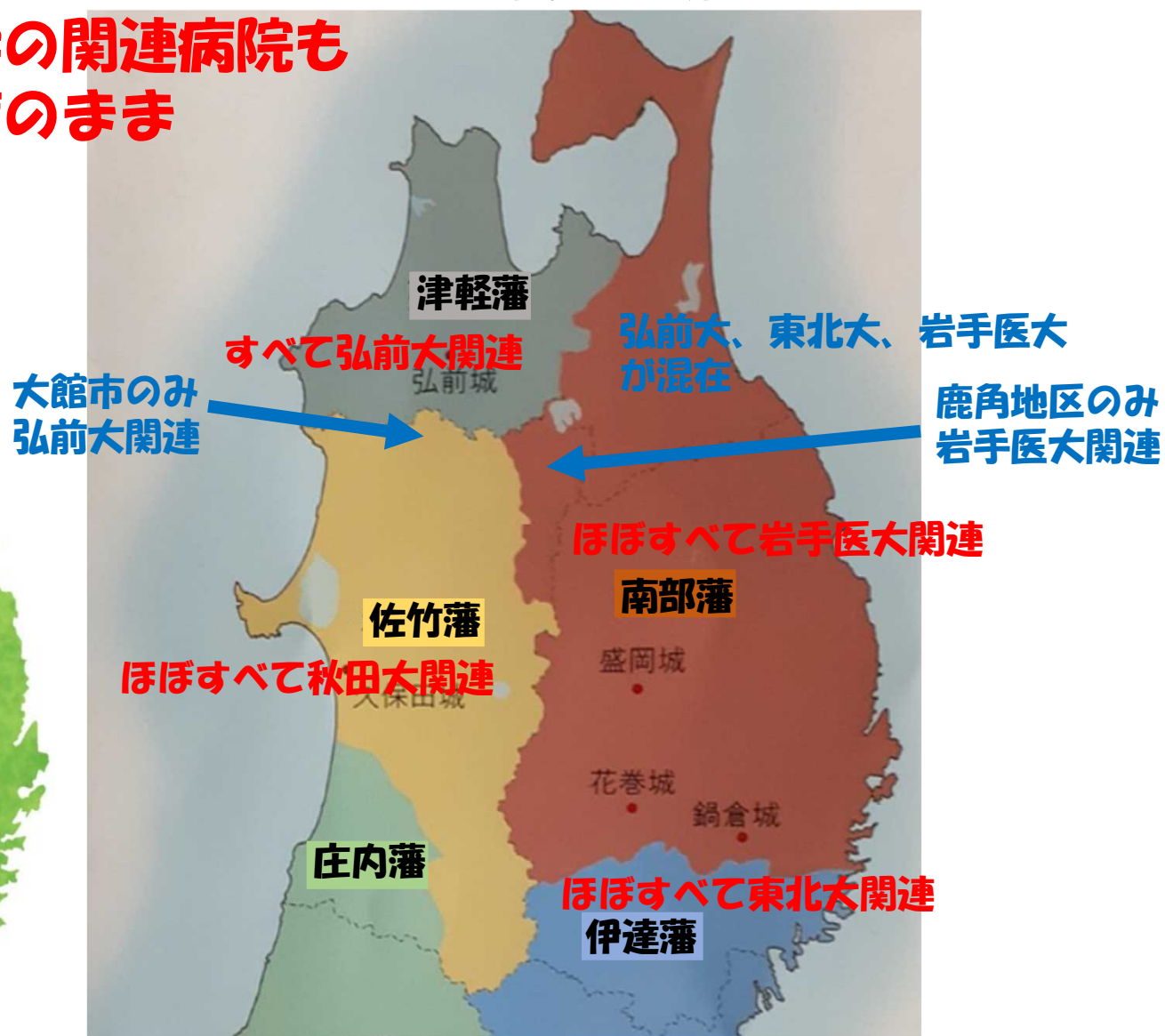


現在の北東北



各大学の関連病院も
藩制度のまま

江戸時代の北東北

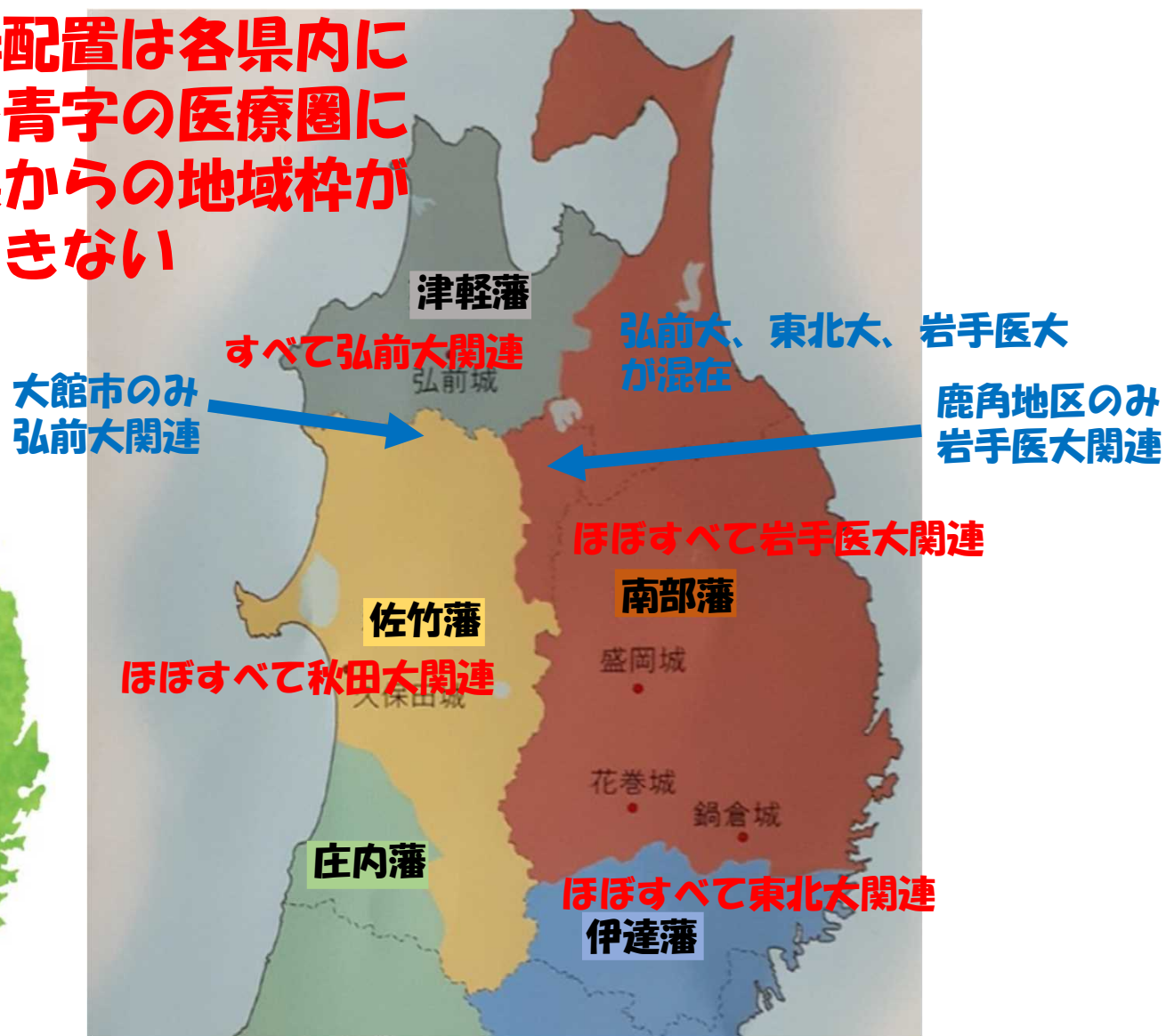


現在の北東北



地域枠配置は各県内に
限定→青字の医療圏に
は他県からの地域枠が
配置できない

江戸時代の北東北

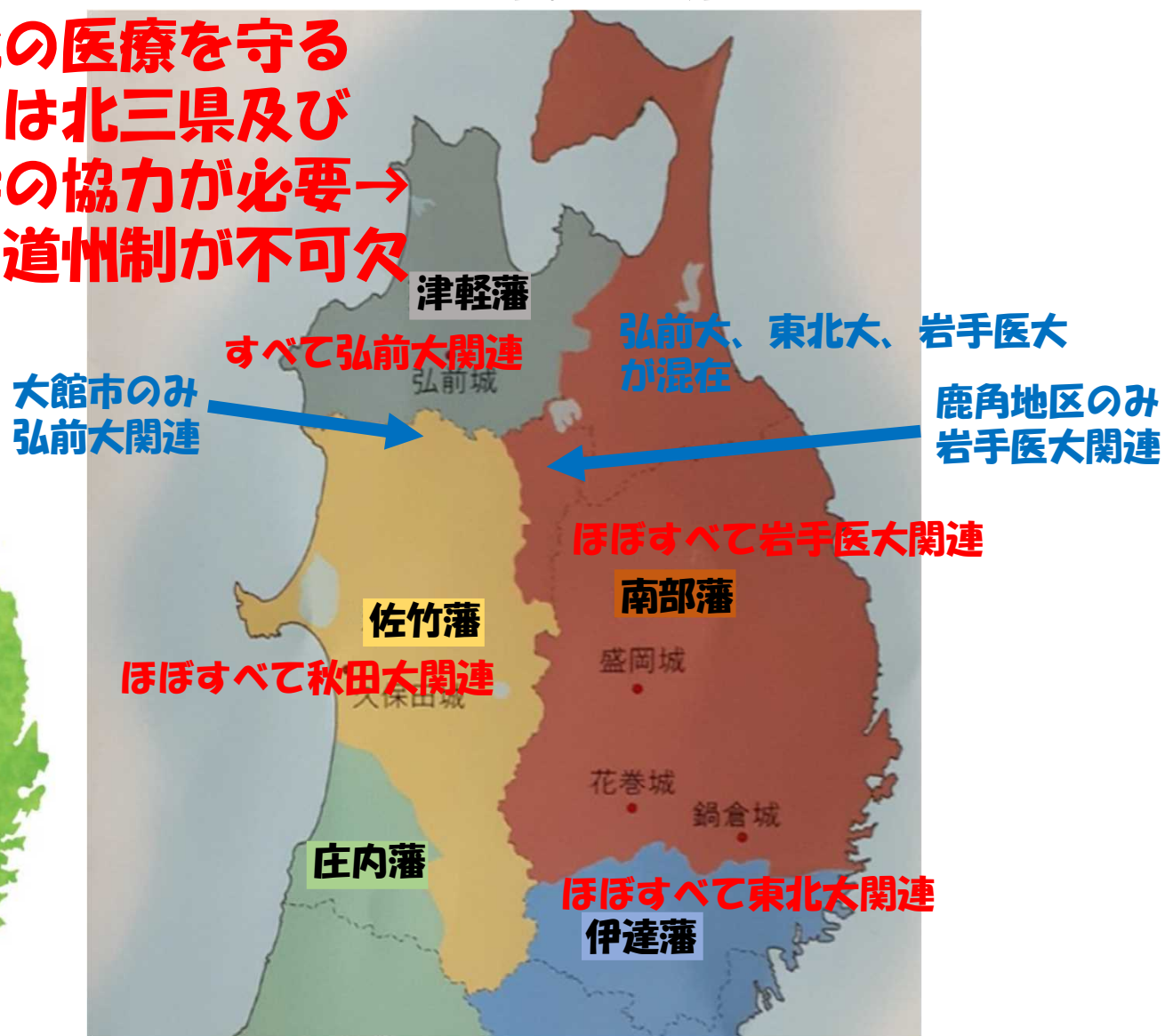


現在の北東北



**北東北の医療を守る
ためには北三県及び
三大学の協力が必要→
医療の道州制が不可欠**

江戸時代の北東北

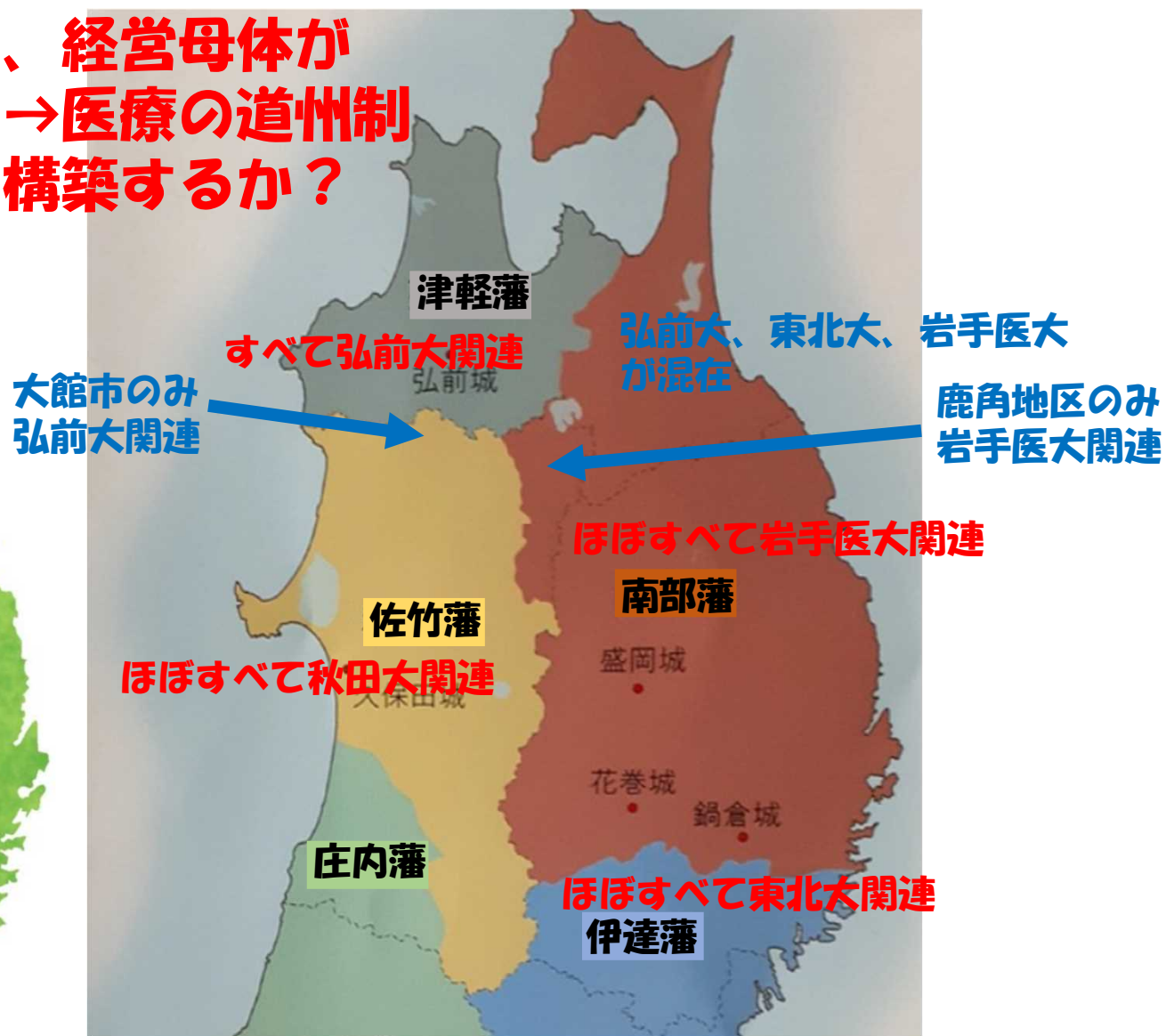


現在の北東北



さらに、経営母体が異なる→医療の道州制をどう構築するか？

江戸時代の北東北

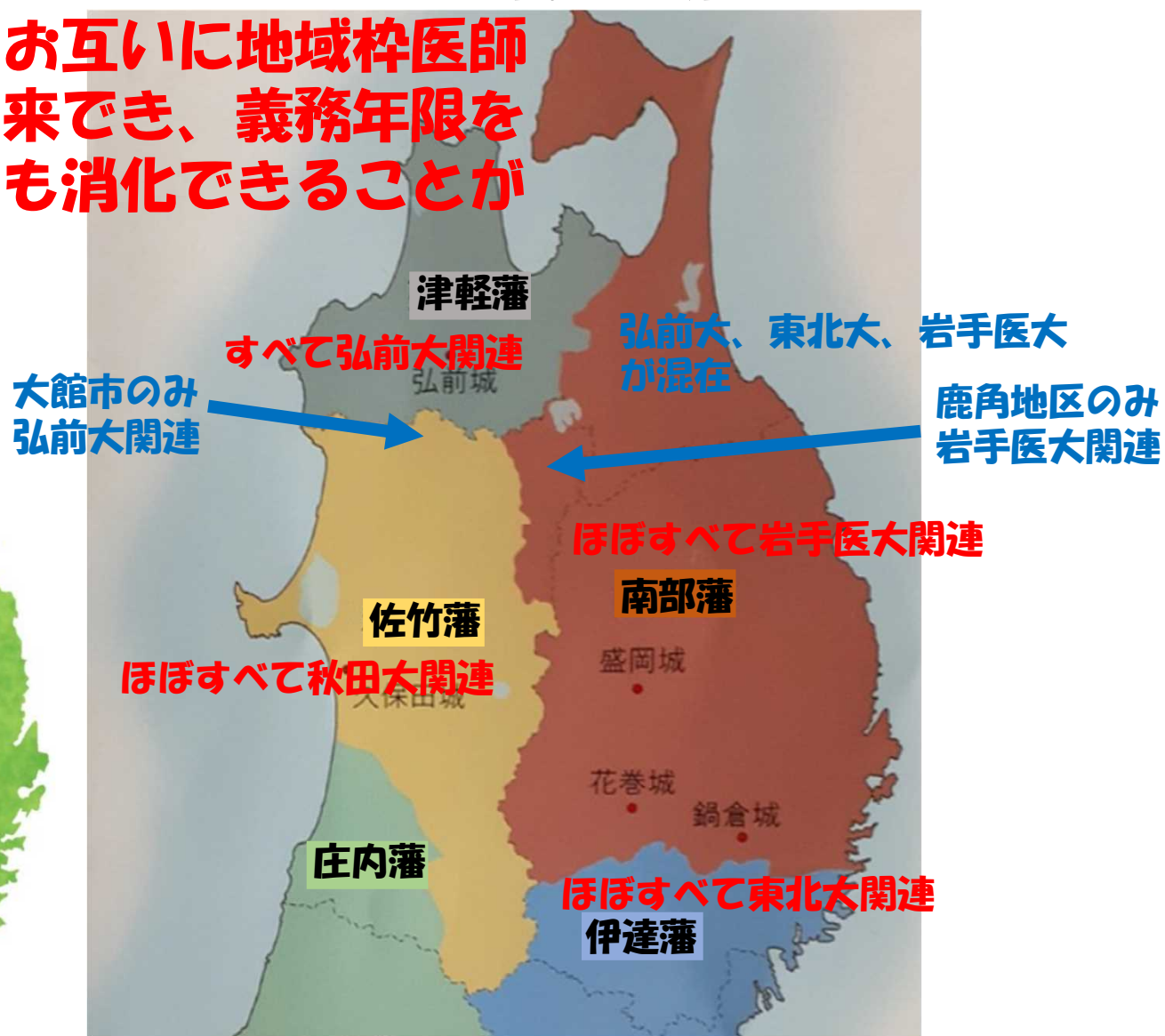


現在の北東北

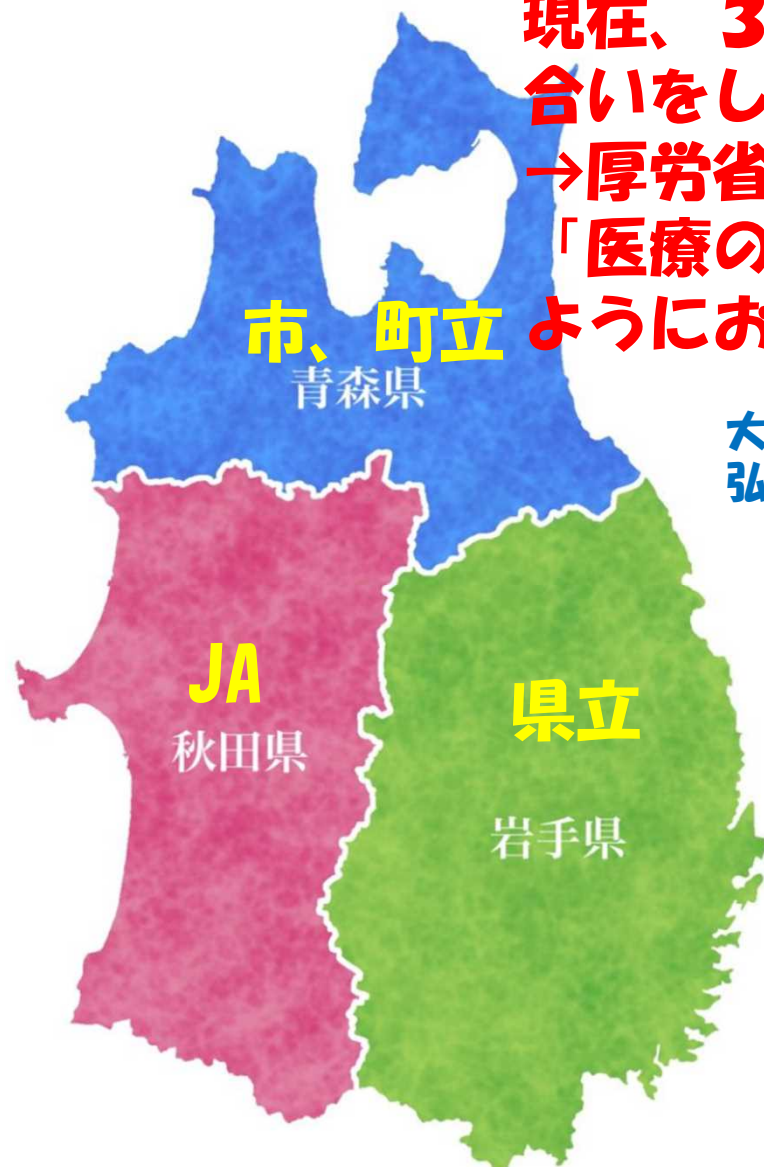


**3県でお互いに地域枠医師
が行き来でき、義務年限を
他県でも消化できることが
必須**

江戸時代の北東北

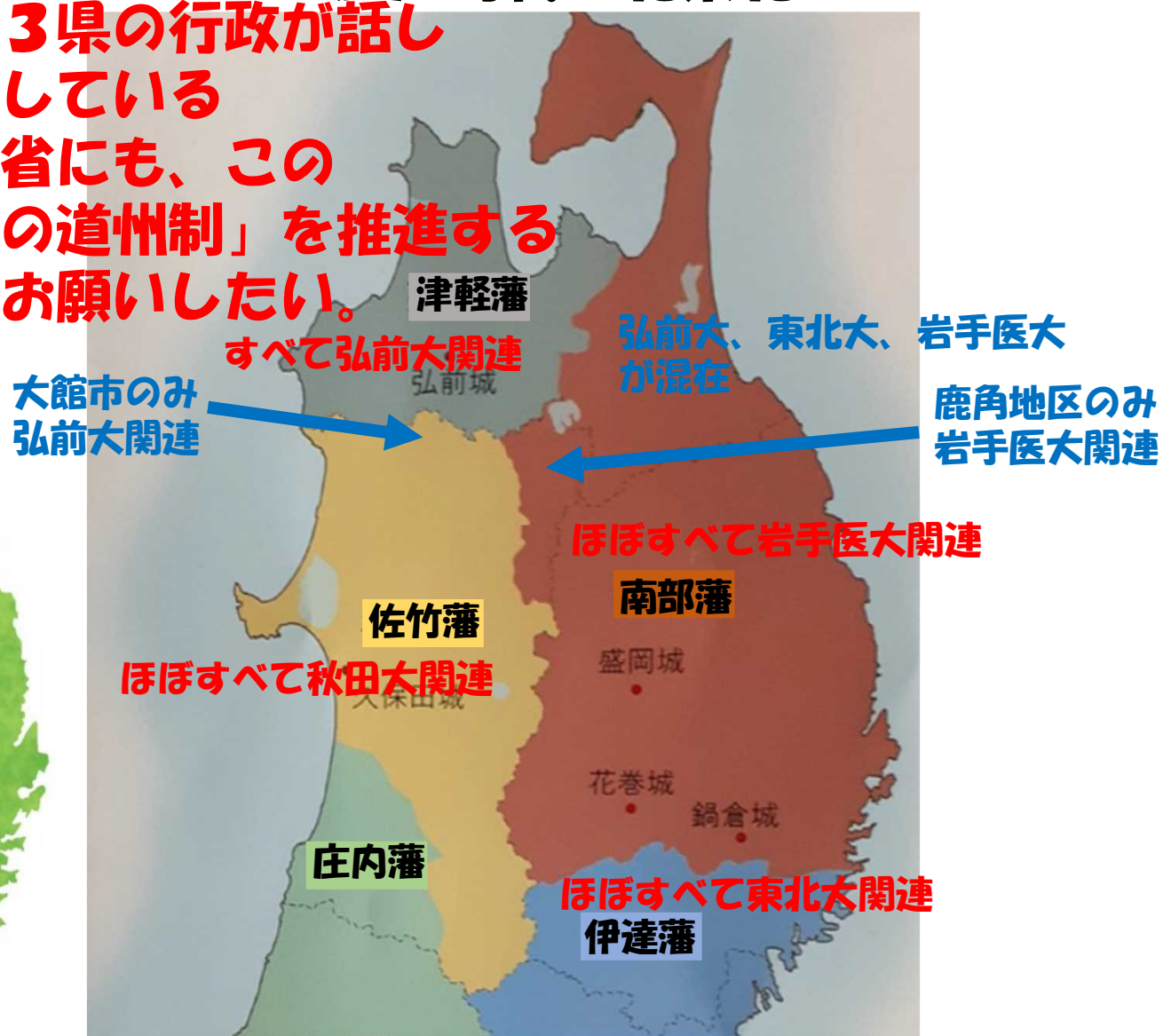


現在の北東北



江戸時代の北東北

現在、3県の行政が話し
合いをしている
→厚労省にも、この
「医療の道州制」を推進する
ようにお願いしたい。



- **北東北における地域枠の配置の現状と対策**
- **岩手医科大における恒久定員内への地域枠に準じた枠の設置の取り組み**
- 岩手医科大における地域枠以外の医学生に対する地域定着に向けた取り組み

恒久定員内地域枠の設置数の推移

○ 恒久定員内への地域枠設置は、主に医師多数県で進んでいる。

都道府県名	恒久定員 合計	恒久定員内地域枠			都道府県名	恒久定員 合計	恒久定員内地域枠		
		令和5年度	令和6年度	令和7年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度
北海道	312	7	7	7	滋賀	105	6	11	11
青森	106	36	36	36	京都	207	2	2	3
岩手	94	1	1	1	大阪	510	0	0	0
宮城	181	30	30	10	兵庫	213	3	3	3
秋田	102	3	2	2	奈良	100	0	0	3
山形	106	1	6	6	和歌山	90	20	20	20
福島	86	1	1	1	鳥取	85	7	7	7
茨城	107	4	4	4	島根	100	10	10	10
栃木	110	0	0	0	岡山	215	0	0	1
群馬	105	0	0	0	広島	105	5	5	5
埼玉	110	0	0	0	山口	100	0	0	0
千葉	240	5	5	5	徳島	100	0	5	6
東京	1,402	5	5	7	香川	100	0	0	3
神奈川	415	27	27	27	愛媛	100	5	5	5
新潟	100	0	0	0	高知	100	10	10	11
富山	100	0	0	0	福岡	430	0	0	0
石川	215	0	1	2	佐賀	98	0	0	7
福井	105	0	0	0	長崎	100	0	0	1
山梨	105	15	15	15	熊本	105	3	3	4
長野	105	0	7	7	大分	100	3	3	3
岐阜	85	3	3	3	宮崎	100	40	40	40
静岡	105	0	0	0	鹿児島	100	0	0	0
愛知	409	0	0	0	沖縄	105	5	5	5
三重	105	15	15	15					

(赤字：前年度比増) (青字：前年度比減)

・恒久定員内地域枠：恒久定員のうち、当該都道府県内で卒業一定期間従事要件があり、具体的な従事要件の設定や配置に地域医療対策協議会もしくは都道府県が関与するもの（一部地元出身要件あり。）

※恒久定員合計の枠数は令和7年度のものに基づく。

※令和5年度の実績値において、地域医療対策協議会もしくは都道府県との関与の有無を整理した結果、これまでの資料と一部数値が異なる県がある。

文部科学省高等教育局医学教育課調べ
(他県にある大学に設置している地域枠・地元出身者枠を含む。)
(※東北医科薬科大学の恒久定員内地域枠の一部は、複数の県のいずれかの修学資金制度に申込みを条件としており、本表に含まない。自治医科大学の恒久定員は、本表に含まない。)

黄：医師多数県
灰：医師中程度県
青：医師少数県

※令和6年1月10日更新の
医師偏在指標に基づく

学校推薦型選抜秋田県地域枠（秋田県出身者枠）

募集人員

2名

出願資格

次の要件をすべて満たしている者

1. 秋田県内の高等学校を令和7年3月に卒業した者、または令和8年3月卒業見込みの者
2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の学力を有し、学業および生活態度が優秀であり、かつ医師となる適性と明確な目的意識を持った生徒で、学校長が推薦する者
3. 合格した場合は必ず入学し、医師免許取得後は、秋田県の地域医療のために9年間（臨床研修期間2年含む）勤務し、うち4年間は、知事が指定する医師不足地域の公的医療機関等で従事することを確約できる者
4. 入学後は、秋田県医師修学資金を6年間受給し、医師免許取得後は、秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラムに従って義務履行することを確約できる者

総合型選抜（地域医療医師育成特別枠）

募集人員

8名程度

全国公募

出願資格

**これについては、大学
独自の取り組みとして
実施していた**

次の要件をすべて満たしている者

1. 高等学校または中等教育学校を令和6年3月以降に卒業した者、および令和8年3月卒業見込みの者
2. 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の学力を有し、学業及び生活態度が優秀であり、かつ医師となる適性と明確な目的意識を持つ者
3. 圭陵会正会員（本学の職員および志願者の2親等以内を除く）の推薦を得た者
4. 合格した場合、入学を確約できる者
5. 卒業後、本学附属病院および本学関連病院に通算6年以上（本学附属病院での臨床研修2年を含む）勤務し、岩手県の地域医療に従事することを確約できる者

総合型選抜（地域医療医師育成特別枠）

年度	R4	R5	R6	R7
募集定員	5名以内	8名程度	8名程度	8名程度

年度	R4	R5	R6	R7
入学者数	5人	10人	8人	8人

令和4年度から、計31名

総合型選抜（地域医療医師育成特別枠）

年度	R4	R5	R6	R7
募集定員	5名以内	8名程度	8名程度	8名程度

年度	R4	R5	R6	R7
入学者数	5人	10人	8人	8人

令和4年度から、計31名→令和9年度入学者から

「募集定員：15名以内、卒業後の義務年限：7年」

に変更予定

↓
すべての基本領域専門医の取得が可能とする

総合型選抜（地域医療医師育成特別枠）

年度	R4	R5	R6	R7
募集定員	5名以内	8名程度	8名程度	8名程度

年度	R4	R5	R6	R7
入学者数	5人	10人	8人	8人

令和4年度から、計31名→令和9年度入学者から

「募集定員：15名以内、卒業後の義務年限：7年」

に変更予定

↓
この根拠は？

学校推薦型選抜 地域枠 A（岩手県出身者枠）

募集人員

15名

岩手県出身者のみ

出願資格

岩手県から「岩手県医師修学資金」の貸与候補生の決定を受けている者で、次の1または2に該当し、3以下の要件をすべて満たしている者

1. 岩手県内の高等学校、中等教育学校を令和7年3月に卒業した者、または令和8年3月卒業見込みの者
2. 岩手県外の高等学校、中等教育学校（文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む）を令和7年3月に卒業した者、または令和8年3月卒業見込みの者で、本人または保護者等が3年前（令和4年12月1日以前）から岩手県内に在住している者
（本人または保護者の主たる住所地及びその在住期間を確認するため住民票添付のこと）
3. 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の学力を有し、学業および生活態度が優秀であり、かつ医師となる適性と明確な目的意識を持った生徒で、学校長が推薦する者
4. 合格した場合は必ず入学し、医師免許取得後は、岩手県の地域医療のために、11年間（臨床研修期間2年含む）勤務し、従事することを確約できる者
5. 入学後は、岩手県医師修学資金を6年間受給し、医師免許取得後は、岩手県のキャリア形成プログラムに従って岩手県内で2年間の臨床研修を含む11年間県内の公的病院等に勤務することを確約できる者

総合型選抜（地域医療医師育成特別枠）

年度	R4	R5	R6	R7
募集定員	5名以内	8名程度	8名程度	8名程度

年度	R4	R5	R6	R7
入学者数	5人	10人	8人	8人

地域枠A
の合格

最低点を
基準とした
時の入学可能者

11人

12人

21人

10人

→ この基準で総合型選抜を入学させても
15名以内とすると入学者の学力を担保
できる

総合型選抜（地域医療医師育成特別枠）

募集人員

8名程度

全国公募

出願資格

次の要件をすべて満たしている者

1. 高等学校または中等教育学校を令和6年3月以降に卒業した者、および令和8年3月卒業見込みの者
2. 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の学力を有し、学業及び生活態度が優秀であり、かつ医師となる適性と明確な目的意識を持つ者
3. 圭陵会正会員（本学の職員および志願者の2親等以内を除く）の推薦を得た者
4. 合格した場合、入学を確約できる者
5. 卒業後、本学附属病院および本学関連病院に通算6年以上（本学附属病院での臨床研修2年を含む）勤務し、岩手県の地域医療に従事することを確約できる者

恒久定員内に大学独自の地域枠を設定している等、大学として地域医療に貢献する取り組みを行っている

- **北東北における地域枠の配置の現状と対策**
- **岩手医科大における恒久定員内への地域枠に準じた枠の設置の取り組み**
- **岩手医科大における地域枠以外の医学生に対する地域定着に向けた取り組み**

令和7年度 地域医療体験実習 実施要項 **医学部1年**

1. 責任者

医学教育学講座 地域医療学分野 伊藤 智範 教授

2. 教育成果（アウトカム）

本研修は early clinical exposure として位置づけられている。

地域医療機関で働く医師の活動を学ぶことで、医師になる者としての自覚を高めるとともに
医師の果たすべき役割を習得することができる。

3. 行動目標（SB0s—Specific Behavioral Objectives）

- (1) 医療チームにおいて、医師の果たしている役割を述べることができる。
- (2) 医療チームがどのようなメンバーで行われているか概説できる。
- (3) 病院スタッフ（指導医、看護師、薬剤師等）とのコミュニケーションをとることができる。
- (4) 患者さんや家族とのコミュニケーションをとることができる。
- (5) 地域医療機関で医師不足や看護師不足にどのような対策を取っているかを述べることができる。

5. 研修日程及び研修場所

- (3) 研修日程 2025年7月24日（木）～25日（金）2日間

※遠方の病院へは7/23（水）午前のガイダンス後から現地へ移動し、2泊3日の対応とする。

- (4) 研修場所 県内外の医療機関

地域医療学Ⅱ 医学部3年

ナンバリング

M3-S1-F06

責任者・コーディネーター	地域医療学分野 伊藤 智範 教授				
担当講座・学科（分野）	地域医療学分野				
担当教員	伊藤 智範 教授、地域医療機関指導者				
対象学年	3	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義	0コマ	0.0時間
期間	前期		演習	0コマ	0.0時間
			実習	23コマ	46.0時間

・学習方針（講義概要等）

将来、医師として働く場所には必ず地域がある。医療はその地域の一部であり、地域全体を理解することがリーダーたる医師が社会人として働くために、重要である。1年次に引き続き、3年次では1週間地域に滞在して、そのエリア全体と時間軸を意識して、地域医療の概要を理解することが本科目の目的である。その中で医師が果たすべき役割・社会から医療に求められていることはなにかを学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

地域医療機関で働ける医師になるために、地域医療に関連する分野全体とそれに携わる職種を理解して、医師になる者としての目覚めを高めるとともに、地域内で医師が果たすべき役割を習得する。

(ディプロマ・ポリシー: 2,6,8)

総合臨床医学 **医学部5年**

ナンバリング

M5-S1-I01

責任者・コーディネーター	臨床実習部会長		
担当講座・学科(分野)	臨床実習担当講座・学科		
担 当 教 員	臨床実習担当講座・学科教員		
対象学年	5 学年	期 間	通年
区 分	講義・演習		

■ 学習方針(講義概要等)

目の前の患者の医学的な問題の解決のために、自分の持っている医学的知識や社会的知識を有効かつ効率的に活用する訓練を行う。臨床実習で自らの課題を確認すると同時に、講義によって、臨床場面に則した知識の活用の仕方を体系的に学習する。

■ 教育成果(アウトカム)

基礎医学、社会医学、臨床医学の知識を臨床場面に則した形で学修することにより、医学的な問題の解決のためにこれらの知識を活用する能力を身につける。

(ディプロマ・ポリシー:1、2、3、4、5、6、7)

実習病院：多くは岩手県内の医師少数地域

1	岩手県立胆沢病院
2	岩手県立磐井病院
3	岩手県立江刺病院
4	岩手県立大船渡病院
5	岩手県立釜石病院
6	岩手県立軽米病院
7	岩手県立中部病院
8	岩手県立久慈病院
9	岩手県立千厩病院
10	岩手県立遠野病院
11	岩手県立南光病院
12	岩手県立二戸病院
13	岩手県立宮古病院

20	社団医療法人康生会 鶯宿温泉病院
21	社会福祉法人恩賜財団済生会 北上済生会病院
22	国立病院機構釜石病院
23	国立病院機構盛岡医療センター
24	社会福祉法人恩賜財団岩手県済生会 岩泉病院
25	八戸赤十字病院
26	社団医療法人法成会 平和台病院

31	三沢市立三沢病院
32	洋野町国民健康保険 種市病院
33	葛巻町国民健康保険 葛巻病院
34	医療法人社団帰厚堂 南昌病院
35	西和賀町立 西和賀さわうち病院
36	国立病院機構岩手病院
37	公益財団法人 総合花巻病院
38	社団医療法人啓愛会 美希病院
39	医療法人清和会 奥州病院

医学部4年

令和6年度 4M キャリア教育

2024年10月3日

医師臨床研修について

岩手医科大学

総合診療医学講座 教授

内丸メディカルセンター長

下沖 収



イーハトーヴ臨床研修病院群

いわてイーハトーヴ

検索



平成22年度から
岩手県内12病院が
全て相互に研修
協力病院となった

これにより
相互の強みを活かす
研修体制ができた

2019年度より
盛岡市立病院が加わった



⑬盛岡市立病院

①岩手医科大学附属病院



③岩手県立中央病院



⑤岩手県立中部病院



⑦岩手県立磐井病院



⑨岩手県立釜石病院



⑪岩手県立久慈病院



②盛岡赤十字病院



④北上済生会病院



⑥岩手県立胆沢病院



⑧岩手県立大船渡病院



⑩岩手県立宮古病院



⑫岩手県立二戸病院



他病院と比べて「ここが良い！」

他病院の臨床研修医がたすきがけで、
当院で研修した後のアンケート結果の紹介

✓ 診療科の指導体制は？

- ・ 人数も多くすぐに相談しやすい
- ・ 手技を多く勉強させていただいた
- ・ 学びと研修のバランスがちょうど良かった

✓ 当院で研修して良かったことは？

- ・ 基本手技を学べるほか、様々な症例に触れる機会があった
- ・ 専門性の高い症例を数多く経験できた
- ・ 医療資源の豊富な環境で過ごせたこと（人、機材、患者etc…）

✓ 貴院と当院の研修を比較して感じたことは？

- ・ 大学では病棟で病態をじっくり考えながら加療ができる
- ・ 科が多いので研修の幅が広がって良いと思った
- ・ 先生方の指導が丁寧で勉強になった





時代にマッチした

自分にマッチした

岩手医科大学ならではの臨床研修

各講義の中に入れている

岩手で「実力派医師」を目指せ

－出身大学ネットワーク－



幅広く豊富な臨床経験

- 大学附属病院、地域基幹病院、地域病院がバランスよく配置
→ 高度専門医療から一般診療、高齢者医療、介護・福祉、予防医学
→ よくある疾患から希少症例まで
- 医師少数県 → 指導医と距離が近く、実践的診療ができる、経験の機会が多い
- 良好な病院間連携・多職種連携・介護・福祉連携・顔の見える関係
- 災害医療教育・心のケア



臨床研修から専門研修・医学研究へスムーズに

- 岩手医科大学を中心として県内外の密接なネットワーク
- イーハートヴ臨床研修病院群の熱心な指導教育体制
- 全19領域の専門研修プログラムを整備
- 社会人大学院、履修プロセス管理、部門横断的な研究環境
- 臨床研修⇒専門研修、大学院・学位取得まで一貫した環境
- 医局は生涯にわたるサポート基地

岩手の自治体立医療機関(常設)

- 県立病院(20)
- 県立診療所(6)
- 市町村立病院(8)
- 市町村立診療所(25)

二次医療圏(9)

令和5年4月現在

基幹型臨床研修病院(9)

(参考:自治体立以外の医師臨床研修病院等)

- 岩手医科大学
- 盛岡赤十字
- 北上済生会

各講義の中に入れて

抜群の待遇と生活環境

－岩手は宝の山－



抜群の待遇・良好な生活環境

- ・臨床研修医の給与・手当は全国平均を大きく上回る
- ・住宅補助・医師宿舎が充実
- ・自然豊かで暮らしやすく、ワークライフバランスを保ちやすい
- ・患者や住民との距離が近く、やりがい・必要とされる実感が大きい
- ・控えめで実直、信頼を重んじる県民性
- ・豊かな食文化・ご当地グルメ、四季折々の美しい自然、伝統と文化

臨床研修医の年収比較 ※宿日直等手当等の想定額をモデルケース加算

	1年次 年収(万円)	2年次 年収(万円)
岩手県(レンジ)	612～799	650～850
岩手医大附属病院	612.0	660
全国平均(大学病院)	307	379
全国平均(市中病院)	451	556

ChatGPT5で作成。出典：岩手臨床研修病院ポータルサイト、厚労省「臨床病院における研修医の処遇」

各講義の中に入れている

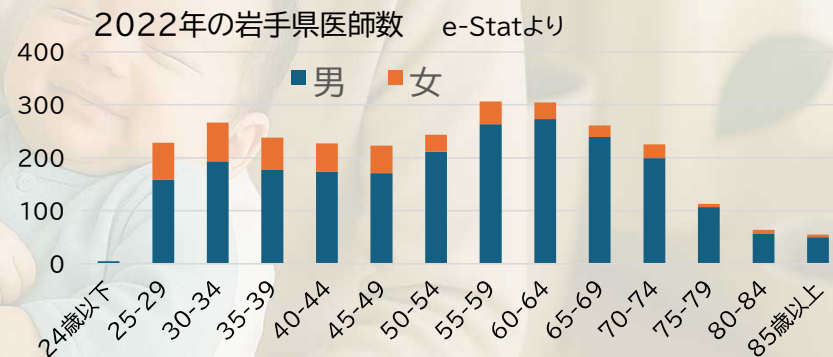
女性医師のキャリア形成

－岩手県・岩手医科大学の姿勢－



手厚いキャリア形成支援

- ・ 育児支援・勤務調整制度の整備
- ・ 出産・育児とキャリア継続の両立がしやすい環境
→岩手JOYサポートプロジェクト、ママドクター制度
- ・ 院内保育所(一部で24時間)、ベビーシッター派遣
- ・ 女性医にとっても専門医取得や研究に取り組める柔軟な体制
- ・ 岩手医科大学の「復職研修支援」制度
- ・ ロールモデルとなる先輩医師が多数



各講義の中に入れている

岩手で「実力派医師」を目指せ

ー 岩手医大卒業生のキャリア形成は、やはり岩手でー

教員・先輩・同期
との繋がり



豊富な臨床経験

専門医・学位
スムーズに

女性医師支援

抜群の待遇



温かい風土・文化

せっかく岩手に来たんだから、
ここで 確かな実力と豊かな人間性 を育みませんか

- **北東北における地域枠の配置の現状と対策**
- **岩手医科大における恒久定員内への地域枠に準じた枠の設置の取り組み**
- **岩手医科大における地域枠以外の医学生に対する地域定着に向けた取り組み**